

### 2-2-7 低水路河岸の保護

- 洗掘・河岸侵食により堤防に危険が及ぶ箇所等については、河道の安定化を図る必要がある。
- 河岸保護の実施にあたっては、低水路の河岸には良好な自然環境を有する河畔林が多く分布するため、自然環境にも配慮し、多自然型護岸の導入を行なっている。また、地域要望との調整を図りカヌーポート機能を有した護岸の導入も行っている。

箇所名	災害の状況	箇所名	災害の状況
名寄川支川		問寒別川	

図 2-2-7 河岸決壊が堤防付近まで及んでいる状況

箇所名	自然に配慮した河岸の状況	箇所名	自然に配慮した河岸の状況
問寒別川		風連右岸	

図 2-2-8 自然に配慮した河岸整備の実施例

箇所名	護岸整備の状況	箇所名	護岸整備の状況
士別右岸		風連右岸	
美深		中川右岸	

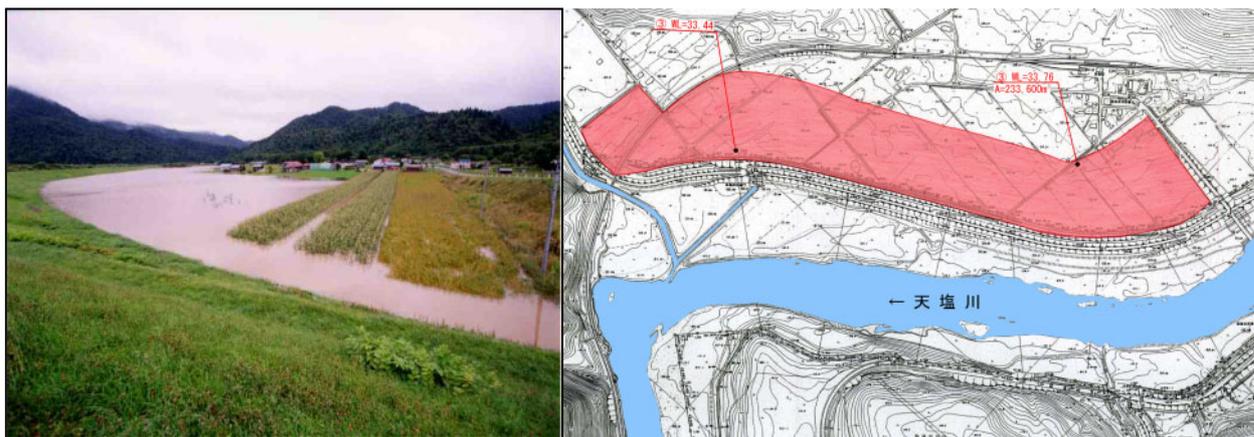
図 2-2-9 天塩川低水路護岸整備状況

## 2-2-8 内水対策の現状

- 狭窄部上流や流下能力の少ない区間において、背水による水位の上昇等により、内水被害が頻発している。
- 既往の内水氾濫実績箇所において、重点的に排水機場等の施設整備を行なっている。
- 天塩川には 238 樋門・樋管が整備されており、設置年度の古い施設の老朽化及び断面不足による排水不良が問題である。



平成 13 年 9 月洪水 内水氾濫状況(天塩川 内淵地区)



平成 13 年 9 月洪水 内水氾濫状況(天塩川 音威子府村箆島地区)

## 2-2-9 その他

- ダム、樋門、排水機場等の施設整備とともに、これらを適切に維持管理、運用していくことが必要である。
- 整備途上段階における洪水や、計画を上回る洪水による災害時においても、被害を最小規模にとどめるための対策が必要である。そのため、洪水時の破堤等による浸水状況と避難方法等の対策に係る情報を住民に分かりやすく提供することを目的とした「洪水ハザードマップ」の作成を支援する等の対策が必要である。
- 洪水時等における河川管理施設保全活動及び災害時の緊急復旧活動の拠点として河川管理施設である「河川防災ステーション」の整備を行っている。
- 天塩川に係る河川情報の収集や整備、提供については、地域と連携しながら内容の充実を図る必要がある。

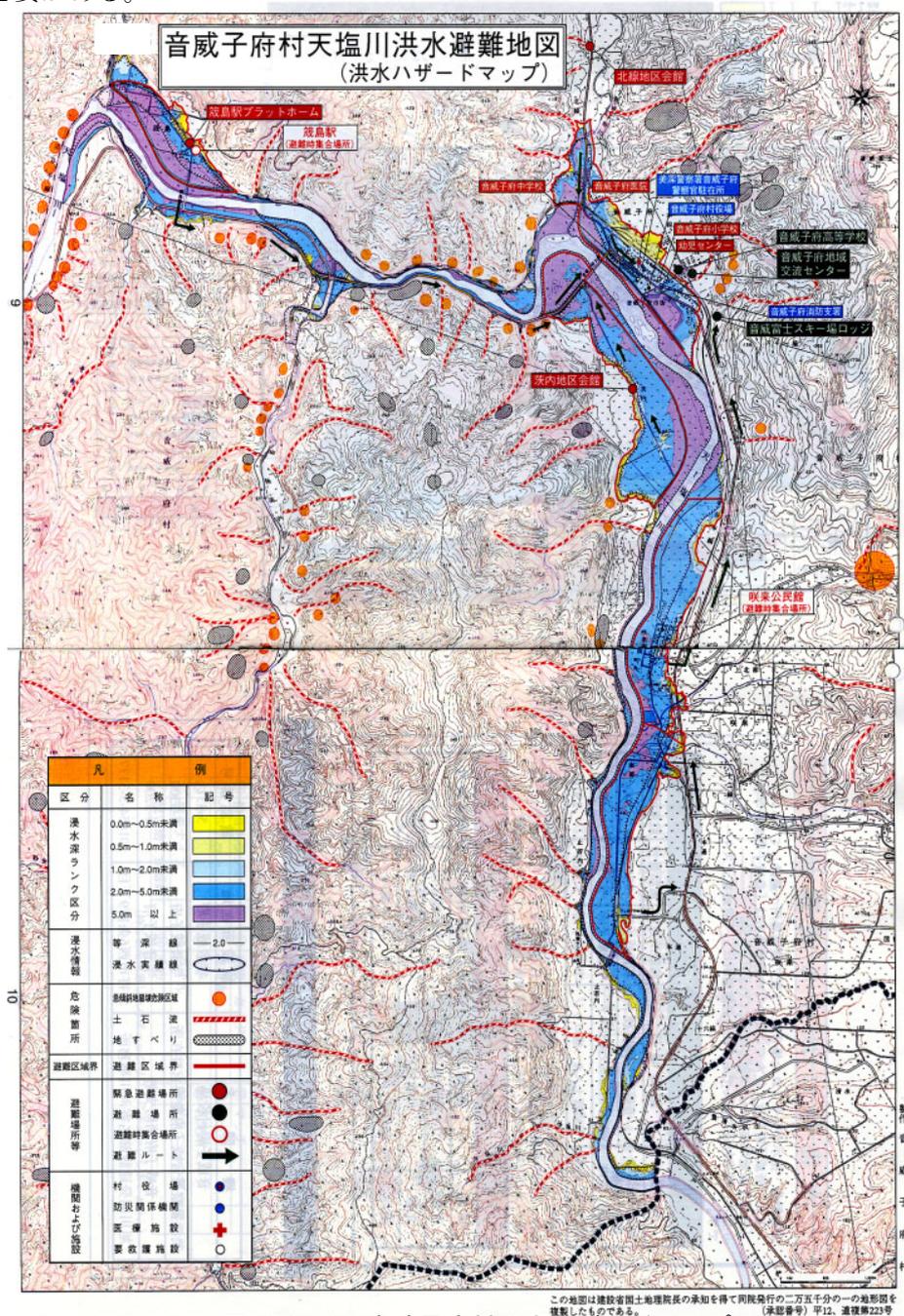


図 2-2-10 音威子府村洪水ハザードマップ



*River Information*

**河川情報をリアルタイムで配信しています。**

国土交通省では、インターネットやiモードを活用し、「レーダ雨量」、「テレメータ雨量」、「テレメータ水位」等の河川情報を配信しています。水害・水難等の防止情報のほか、学習・余暇活動等に活用して頂ける様々な河川情報が掲載されています。

パソコンから・・・・・・・・・・  
<http://www.river.go.jp/>  
 iモードから・・・・・・・・・・  
<http://i.river.go.jp/>



**i modeでも河川情報を提供中。**

携帯電話(iモード対応機種)を通じて国土交通省が観測しているリアルタイムのデータ(全国109水系)を見ることができます。

水防資機材の保管や土のうの作成場所として利用します。

水防団員のための仮眠スペースや炊き出し用の設備を備えています。

災害時（洪水を除く）には地域の避難場所となります。

**桜づつみ**

堤防沿いの桜並木は水郷公園に連なる絶好の散歩コース。天塩川を流れる風に桜が咲き乱れるロケーションは新たな市民の憩いの場となるでしょう。

**土別河川防災ステーション**

**資材置き場**

洪水災害時の緊急復旧作業に使用する資材を備蓄しています。

**ヘリポート**

出水災害時の情報収集、人命救助活動などに使用されます。

図 2-2-11 土別河川防災ステーション(完成イメージ図)

2-2-10 治水における課題

項 目	課 題
河道	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭窄部など、洪水の流下に必要となる河道断面積の小さい区間は、洪水時水位上昇による外水氾濫の危険性が高い状況にあり、河道掘削等、流下断面の確保が必要である。</li> <li>・ 河道内に樹木の繁茂している区間は、洪水時に河道水位が上昇し、外水氾濫の危険性が高いことから、治水や環境上の機能や影響を考慮し、河道内樹木の適正な管理が必要である。</li> </ul>
堤防	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 堤防の完成区間は全体の4割程度であり、未完成区間においては浸水および越水・漏水等による破堤の危険性がある。</li> </ul>
河岸	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 水衝部など河岸の侵食を受けやすい区間が存在し、堤防破壊などの原因となる恐れがある。</li> </ul>
内水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内水被害が起きている地区についてはポンプ設置等の対策が必要である。また、設置年度の古い樋門樋管の中には、老朽化した施設もあり改築が必要である。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河川管理施設の適切な維持管理が重要である。</li> <li>・ 災害時においても被害を最小規模にとどめるための対策が必要である。</li> <li>・ 天塩川に係る河川情報の収集や整備、提供については、地域の協力も得ながら内容の充実を図る必要がある。</li> </ul>